

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状認識

当社グループは、「中期経営計画2024（2021～2024年度）※1」に基づき、中国地域の基盤強化や都市圏の事業拡大、生産性の向上等の諸施策に取り組んできております。

この結果、売上高・営業利益が増加するとともに営業利益率も向上しており、業績はコロナ禍の影響を受けた一部期間を除き順調に推移しております。

また、資本政策として成長投資による事業の拡大、株主還元の充実などにも継続して取り組んでおります。

こうした取り組みによりROEは直近で4%程度まで改善しているものの、株主資本コスト4.5%※2を下回る状況にあり、また、株価は2024年3月末時点で3,065円、PBRは0.79倍と1倍を下回る状況にあります。

このため、収益力の向上や資本政策の取り組みを一層強化することで資本効率を改善するとともに、こうした対応について持続的な成長に向けた事業計画と合せて、株主や投資家の皆さまのご理解を十分に得られるよう、これまで以上にIR活動に取り組む必要があると認識しております。

指標等		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (目標)
売上高	百万円	168,888	184,482	190,690	189,032	201,025	210,000
営業利益	百万円	8,333	9,482	10,425	8,361	11,947	12,500
当期純利益	百万円	4,795	8,119	6,682	△6,913	7,937	8,800
売上高営業利益率	%	4.9	5.1	5.5	4.4	5.9	6.0
ROE	%	2.3	3.8	3.1	△3.4	3.9	4.2
期末PBR	倍	0.59	0.61	0.53	0.59	0.79	

※1 「中期経営計画2024（2021～2024年度）」

<https://www.chudenko.co.jp/info/management/#sect4>

※2 株主資本コストはCAPMにより算定

2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針

現状認識を踏まえ、「中期経営計画2024」に掲げる成長戦略を強力に推進し、利益の確保・拡大に努めるとともに、株主還元の充実などの資本政策に取り組み、ROEの向上を図ります。また、こうした取り組みについてIR活動を積極的に展開し、PBRの向上を目指します。

これらの取り組みの進捗状況については、毎年検証を行い開示いたします。

3. 2024年度の主な取り組み

(1) 収益力の向上

「中期経営計画2024」の業績目標の達成

数値目標（2024年度連結）：売上高2,100億円、営業利益125億円、
ROE4.2%以上

(2) 資本政策の強化・充実

① 人的資本への投資や成長に向けた事業投資の拡大

② 株主還元の充実

・持続的・安定的な高水準の配当の実施

2025年3月期予想：1株当たり年間配当金120円

・自己株式の取得

③ 保有意義が希薄化した政策保有株式の縮減

(3) IR活動の強化

① 投資家向けの説明会および株主・投資家との対話の充実

② 適時適切な情報発信の充実

4. 2025年度以降の対応

2025年度以降の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」については、2024年度内に策定する次期中期経営計画の中でROE5%以上の早期達成に向けた取り組みなどを改めてお示しいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社中電工
業務本部 総務部 広報担当
TEL (082) 291-9730